行政視察研修報告

平成23年11月24日(木)～11月26日(土)
南阿蘇村議会議員16人・村長及び村職員4人　計20人

◎宍粟市(しそう)視察と丹波地区視察

宍粟市の概要とまちづくり
庁舎建設について
議会の概要と運営状況について
議会基本条例の取り組みについて

宍粟市は兵庫県中西部に位置し中国自動車道と国道29号が地域内で交差する西播磨内陸の交通の要衝となっており4つの町（山崎町・一宮町・波賀町・千種町）が平成17年4月1日に合併した市。

○庁舎建設

4箇所に分散していた行政事務の一本化と円滑な行政事務、職員の削減、住民サービスを目指し、免震構造でユニバーサルデザインを取り入れ、パブリックスペースの設置もされたRC5階建ての建物。

新庁舎建設の財政的効果。

維持管理費、年間600万円、公用車600万円、職員24名減1億6300万円を削減。

○議会

20名(内女性2名)、議長、副議長の在職期間　2年（申し合わせによる)。

議会議場（身障者用傍聴席から）

○議会基本条例の取り組み

研修や視察、特別委員会の設置、検討委員会開催9回、議会報告会（8会場)、市民との意見交換などを通じ、約1年半で議会基本条例の制定が行われている。本村議会でも議会基本条例の制定に向けて検討されつつある。

○エコアクションの取り組み

『世界に誇れる環境主都』の実現に向けて市民・事業者・行政がそれぞれに取るべき行動の指針として策定

3つの重点目標

- CO_2の排出削減とエネルギー対策
- 生物多様性の保全と持続可能な活用
- 環境主都を担う人づくり

○兵庫木材センターの取り組み

兵庫県下で一番の木材センターで林業家から建築メーカーまで一貫した管理体制の工場

○道の駅の概要と特産品開発

宍粟市は「揖保の糸」の生産地、揖保川のながれの脇にたつ道の駅波賀メイプル公社で研修。

◎鳥取市視察

○ジオパークへの取り組み

山陰海岸ジオパークの鳥取砂丘砂の美術館で館長の説明を受け、見学研修その後、ジオパークセンターで職員から砂丘の生い立ちや特徴などの説明を受け現地に行く。

鳥取砂丘ジオパークセンター

◎美作市

武蔵(むさし)の里(さと)は岡山県美作市宮本の宮本武蔵生誕伝承地とされる旧跡、名所、顕彰施設が多数建設されている。